

行 政 報 告

第3回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、水柱対策について申し上げます。

8月8日午後5時頃、住民から役場に通報があり、飯生神社前の林地から、地下水と思われる液体が30メートル以上の高さまで吹き出している状況を確認いたしました。

昭和30年代に廃止井となっているR5号井から噴出していると推測され、天然ガス等を含んでいる可能性があるため、警察・消防等の協力をいただき、半径約50メートル範囲の立ち入りをバリケードで規制し、取り急ぎ付近住民のみなさまには防災ラジオで状況を周知いたしました。

確認後は、自噴状況や可燃性ガス濃度測定、道路排水、他井戸等を担当課で1日3回以上巡回し、安全状況の確認を行っており、保健所、経済産業局、産業保安監督部、渡島総合振興局等の関係機関と連携し、今後の対策を検討しております。

噴出口付近は可燃性ガスが検出されていることから立入規制を継続し、住宅地は風向きにより微量なガスを検知する可能性もあるため、ガス検知器等により安全確認を行っております。

また、東京理科大学や道立総合研究機構、各種関係機関等の見識者、専門家の方々にご協力いただき、地下水噴出を収めるための対策について検討しておりますが、噴出圧力が非常に高いため、強行的に作業を実施することは大きなリスクがあるという見解であります。

町では、地域住民の安全確保を大前提として、周辺地域の騒音測定や噴出水の水質検査を行いました。

水柱付近住宅地の騒音測定では、8月19日の測定値は約68デシベルで、静穏時では30から40デシベルのため、うるさいと感じるレベルであります。

8月22日に判明した検査機関による水質検査は、水温21.5度の低温泉水で、人体に影響を及ぼす程の有害物質は検出されておりましたが、食塩泉であることから塩害の問題が懸念されます。

この結果から、ごう音と周辺民家に飛散している噴出水の対策を早急に行うため、8月22日、簡易なものではありますが試験的に噴出口を防音シートで囲む処理を行っております。

今後は、高さ15から20メートル程度の防音壁や飛散防止ネットの整備を計画しており、現在早期着工に向けその工法等を検討しております。

見学者の対策としましては、飯生神社周辺の町道が駐停車の車などで混雑し、交通事故発生の可能性があることから、スポーツセンターなど公共施設駐車場を利用するよう案内をし、8月12日から町職員や交通誘導警備員を配置して対応しております。

8月18日、民地への立ち入り防止看板、B & G海洋センター付近の町道へ路上駐車禁止看板を設置、8月24日には神社下団地入口町道へ路上駐車禁止看板を設置しております。

また、住民のストレス緩和、健康維持のため、長万部振興会館を「ごう音対策避難所」として平日8時30分から17時の間開放しており、希望者につきましては時間外の利用や宿泊も可能としております。

8月30日には、対策会議を「水柱対策本部会議」に格上げし、住民のケア、ごう音対策、噴出水対策等に最善を尽くすため体制の見直しを行い、全庁一丸となって取り組んでまいりますので、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、財政関係について申し上げます。

本年度の普通交付税交付額は、7月26日に決定されました。

普通交付税の算定結果は、基準財政需要額29億8,153万3千円から基準財政収入額6億7,984万9千円、調整額246万6千円を控除した22億9,921万8千円が交付額となり、前年度と比較して2.3%、5,386万6千円の減額となりました。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種事業について申し上げます。

60歳以上及び18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方等を対象とした4回目接種につきましては、8月末現在1,973名の方に接種を実施しております。

現在、国においては、オミクロン株に対応したワクチンを使用した追加接種について議論が行われており、接種を実施するかどうかは引き続き議論されております。

今後、オミクロン株対応ワクチン接種が、予防接種法に基づく予防接種に位置付けられた場合、速やかかつ円滑に接種を開始するための体制を整えておく必要があることから、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、東京理科大学関係について申し上げます。

令和5年度からの長万部キャンパスの利用再開について、浜本理事長より連絡があった内容を報告いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響により、全寮制教育を一時中止しておりました長万部キャンパスについて、令和5年度より感染症対策を講じたうえで、長万部キャンパスの利用を再開する予定とのこととなりました。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、予定が変更となる場合もあるとのことですが、大学としても万全の準備を整え、来春には無事に経営学部国際デザイン経営学科の学生を、長万部キャンパスに迎え入れたいとのこととなります。

こうした大学の決断に対しては、賑わいの創出と町の活性化に繋がるものであり、喜びと歓迎をお伝えいたしました。

町としても大学とのさらなる連携・協力を図り、令和5年4月に学生を歓迎するための受け入れ準備を進めてまいります。

次に、脱炭素化・地域レジリエンス強化の推進について申し上げます。

国では、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「2050年カーボンニュートラル」を宣言しております。このため環境省においては、自治体の公共施設における再生可能エネルギーの率先導入が掲げられました。

このことから、今年度の町の実組として、昨今の災害リスクの増大に対し、災害・停電時に公共施設へのエネルギー供給等が可能な再エネ設備等を整備することにより、地域の脱炭素化と地域のレジリエンスの同時実現を目的とした事業に取り組むことといたしました。

この事業により、町の公共施設における将来的な電力費用の低減及び平時の温室ガスの排出抑制に加え、災害時に避難施設等として位置付けられた公共施設や、災害発生時に業務を維持すべき施設にエネルギー供給等が可能となります。

この事業を推進するため、町が東京理科大学との連携により地方創生事業として取り組んだ「再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネスプロジェクト」で、中心的な役割を担っておりました総合エネルギー事業も展開しているアストマックス株式会社と「持続可能なまちづくりと脱炭素化・再生可能エネルギー推進」に関する包括連携協定を締結しました。

これにより、町は、カーボンニュートラル実現に向けて、まずは環境省の補助金を活用しながら、初期費用の負担なしで再エネ設備等を導入する「P P Aモデル」により、役場庁舎と学習文化センターに再エネ施設であります太陽光発電等を導入し、脱炭素化の推進・地域のレジリエンスの強化を図ってまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

現在、町内では5つのトンネル工事が施工中であり、9月1日現在において、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑5,000メートルのうち4,298メートルが、豊津工区では2,065メートルのうち1,271メートルが掘削されており、また、内浦トンネルの静狩工区は、本坑5,570メートルのうち2,839メートルが掘削されています。さらに、豊野トンネル外1箇所では本坑2,105メートルのうち1,218メートルが、国縫トンネルにつきましても本坑1,340メートルのうち1,128メートルが掘削されているところであります。

次に、新幹線長万部駅前周辺整備について申し上げます。

土地区画整理事業予定区域内の権利者向けの説明会を、7月5日にあつまんべで開催し34名の出席がありました。事業の仕組みや特徴などについて専門家を招いて説明し、事業への理解と協力をお願いしたところであります。

また、新幹線駅デザイン検討委員会において、今年度は、新幹線高架下の滞留空間についての利用方法を検討する予定であり、昨年度に引き続き、長万部高校生に委員の募集を行い、4名の応募があったところであり、この高校生委員が参加する視察研修を7月25日、26日の2日間で実施し、青森県青森市及び八戸市の新幹線駅や、駅前周辺の滞留空間について先進事例の取組を視察してまいりました。

次に、老人福祉関係について申し上げます。

60歳以上の高齢者を対象とした町内温泉施設の入浴料助成事業につきましては、8月末現在788名の方に申請をいただき助成券を交付しております。

地域敬老会につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、令和3年度は開催をお願いできておりませんでした。今年度は、地域のみなさまの手作りにより、高齢者の長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらうため、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を図り地域敬老会を開催する場合は、令和元年度と同様に、また、地域敬老会開催の代替として記念品等を配布される場合は、昨年度と同様に補助金を交付することとし、各町内会等へお願いいたしました。

原油価格の高騰等による様々な支出の増加に鑑み、高齢者や障がい者で低所得の状況にある方に、物価高騰の影響緩和を行うことで在宅福祉の向上を図ることを目的に、北海道における市町村高齢者世帯等生活支援事業補助金を活用し、令和4年6月1日を基準日として、65歳以上の高齢者世帯または障がい者世帯のうち、市町村民税非課税世帯に対し「高齢者世帯等生活支援給付金」として1世帯あたり2万円を支給いたします。

なお、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、地域会館関係について申し上げます。

新開寿の家と南栄町老人憩の家を統合した中規模集会施設につきましては、建設工事を8月31日に完了しております。

新しい施設利用につきましては、引っ越し等の完了後の10月1日使用開始予定として、関係する条例の一部改正等を本定例会に提案いたしております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

長万部墓地排水設備改修外工事につきましては、8月4日で完了しております。

山越郡衛生処理組合から引き継ぎました、し尿処理施設につきましては、うちうらクリーンセンターの解体工事を11月15日までの工期で施工中であります。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物の牧草は、8月15日現在の生育状況調査では、2番草収穫作業が平年よりもやや遅れており、サイレージ用とうもろこしの生育状況は平年よりもやや早く進んでおります。

生乳生産の1月から7月末までの出荷量は5,448トン、乳代は4億8,733万円となっており、前年同期と比較して出荷量は227トンの減少となり、乳代は2,540万円の減額となりました。

黒毛和牛の1月から7月末までの販売頭数は123頭、販売金額は8,774万円となっており、前年同期と比較して販売頭数は6頭の減少となり、販売金額は1,351万円の減額となりました。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業の下刈事業は、共立地区19.42ヘクタール、平里地区3ヘクタール、富野地区3ヘクタールを8月1日に完了しております。

森林整備センターとの分収造林事業の下刈事業は、豊津地区20ヘクタールを7月8日に完了しております。

道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、6月23日に着手しております。

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

今年もヒグマやキツネ、エゾシカなどに加えて、特定外来生物であるアライグマの出没も見られる状況であり、鳥獣被害防止対策協議会と連携し、今後もヒグマなどの有害鳥獣による人畜及び農林業等への被害を防止し、住民の生活安全を図ってまいります。

次に、漁業関係について申し上げます。

漁業関係全体の1月から7月末までの水揚げ実績は約53億円となっており、前年同期と比較して約17億円の増額となりました。

このうち、ホタテ貝の生産量は15,986トン、前年同期と比較して9.6%増加しております。また、水揚げ実績では約52億円、前年同期と比較して52%増加しております。価格上昇の要因としましては、新型コロナウイルス感染症の影響による中国など海外の消費低迷が解消されつつあることや、管外から移入された稚貝の生育が比較的良好だったことが考えられます。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、6月から投入した採苗器には、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。しかし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となりますので、各関係機関と連携を図り、生育動向を注視してまいります。

国のアイヌ政策推進交付金を活用し、長万部産ブランドホタテ貝「湾宝」のPR活動を行っている「長万部ホタテ貝アイヌブランド化推進協議会」は、7月28日に長万部漁港内にて、当町にゆかりのあるタレントのバービーさんを招き、町民との交流会を開催し、湾宝アンバサダーとして任命いたしました。また、翌29日には、札幌市内にて湾宝ブランド化プレスリリースイベントを開催し、メディア関係者へのPR活動をいたしました。今後は、さらなるPR活動を進めながら、商品開発及びイベント等を開催してまいります。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した長万部漁港の保全工事は、昨年度に引き続き、岸壁等の補修工事が

施工されており、国縫漁港橋梁補修工事につきましても昨年度に引き続き施工されております。同じく、北海道が事業主体となり、漁村再生交付金事業にて行う大中漁港内用地改良工事につきましても施工が開始されております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

商工観光全般においては、長期に及ぶ新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ情勢に端を発した国際情勢の変化により、中長期的にはエネルギーや原材料等の価格・供給動向は見通せず、円安基調と相まって、事業者の経営環境や地域住民の生活はこれまで以上に厳しくなることが懸念されております。その支援方策として、昨年度に引き続き商工会員の経営の安定化や経営の改善等を図るため、商工事業者経営改善等支援事業を実施したところ、本年度は20事業者が申請し、そのうち11事業者が採択となり、経営改善に努めております。

また、さらなる支援方策として、低迷する地域経済の消費喚起を目的として「くらし応援商品券第2弾」と称し、1人あたり1万円分の地域商品券を全町民へ配布するため、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

なお、これらの2事業につきましては、地方創生臨時交付金を活用する予定でおります。

商工観光振興の一環として実施されております「おしゃまんべ毛がにまつり」は、昨年に続き中止となりましたが、代替措置として今年も感染症対策を行ったうえで「毛がに即売会」を開催し、小サイズを2ハイ3,500円で3店舗各300組を販売したところ、30分程度で全ての店舗で完売いたしました。即売会を実施したことにより、長万部の毛がにブランドを維持することができたものと考えております。

長万部駅舎内に設置されております観光案内所インフォまんべでは、長万部観光協会が、引き続き本町を訪れる観光客への町内観光地の情報提供、長万部温泉、二股ラジウム温泉の案内、飲食店や販売店の紹介等、積極的な観光アピールを行うとともに特産品の販売を行っており、さらなる事業展開及び計画等を検討しております。

合宿誘致事業は、長年にわたり長万部温泉利用協同組合が積極的に誘致活動に取り組んでおりますが、昨年につき新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての合宿が中止となっております。

次に、建設関係について申し上げます。

建築事業では、北海道新幹線建設に伴う町営住宅南部団地解体工事、新開公園廃止撤去工事を令和5年1月31日までの工期で発注しております。また、町営住宅はまなすシルバーハウジング非常灯交換工事は、10月31日までの工期で施工中であります。その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事につきましては、計画的に実施しております。

土木事業では、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施するカマツオナイ橋外修繕設計業務委託は、令和5年1月31日までの工期で実施中であります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事は11月18日まで、管内道路排水等清掃業務は11月30日まで、町道北九号線側溝取替工事は12月30日まで、それぞれの工期で実施しております。その他、道路、側溝等の維持補修等につきましては、計画的に実施しております。

また、8月16日に発生しました大雨による町道及び普通河川等の被害につきましては、町道浅見線が一部崩落したのを始め、複数の町道・河川での被害が出ておりますが、現在調査中であるため、全容を把握できしだい復旧対策を講じてまいります。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

公共下水道污水管路（1・3号幹線系統）カメラ調査外業務委託は、11月30日までの工期で実施中であります。

また、終末処理場マンホール廻り舗装修繕工事及び下水道マンホール蓋交換修繕外工事は、12月10日までの工期で施工中であります。

次に、水道事業について申し上げます。

長万部地区浄水場負荷開閉器取替工事は、９月30日までの工期で施工中であります。

また、静狩地区浄水場水源調査工事につきましては、12月15日までの工期で施工中であります。

次に、病院事業について申し上げます。

町立病院では、新型コロナウイルス感染症に対して発熱外来での診療を続けており、町内での感染拡大時には診療体制を整えるため、一部外来診療を休診するなどの対応をとっております。

今後も感染状況を確認しながら随時対応してまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

次に、消防関係について申し上げます。

８月末現在までの火災件数は３件で、うち、野火が２件、車両火災が１件発生しております。

救急件数は２１７件で、うち、急病が９９件、交通事故が９件、一般負傷が３０件、その他転院搬送などが７５件で、ドクターヘリによる搬送が４件となっております。

８月６日に予定しておりました体験型イベントの、おしゃまんべ消防フェス２０２２、９月３日に予定しておりました長万部町消防訓練大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から昨年度に続き中止としております。

終わりに、本定例会に提案した議件は、条例の一部改正、各会計補正予算、各会計決算認定など２５件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。